

平成 26 年度 市町村河川情報委員 情報交換会議を開催

石狩川振興財団は、10 月 28 日に、札幌市内で平成 26 年度の市町村河川情報委員情報交換会議を開催しました。

市町村河川情報委員は、石狩川流域の全 46 市町村の河川事業担当部長・課長から構成され、河川や川からのまちづくりについての情報を市町村間で共有することを目的に、毎年、情報交換会議を開催しています。

今年度は 42 市町村の河川情報委員の他、北海道開発局、北海道、札幌管区气象台等から 71 名が参加しました。

昨今大きな人的被害を伴う災害が、昨年の伊豆大島(死者・行方不明者 39 名)、今年 8 月の広島市(死者 74 名)と続き、道内でも 8 月に礼文島で土砂崩れにより 2 名の死者が生じ、また、9 月 11 日には道内で初めての大雨特別警報が発令され、札幌市を中心に多くの住民を対象に避難勧告が出されたことから、今年度は「防災」をテーマとしました。

このテーマに沿って、北海道開発局、北海道、札幌管区气象台から最近の取組状況について情報提供がありました。

続いて、今年 8 月、9 月の出水対応状況について、札幌開発建設部及び旭川開発建設部から説明があり、リエゾンや TECFORCE といった人的支援、開発局が保有する災害対策用機械を、市町村が有効に利用して欲しいとの発言がありました。

また、今年避難勧告を出した幌加内町、札幌市、岩見沢市、北広島市からは、避難勧告を出した状況や課題についての発言がありました。

市町村からの情報提供として、石狩川流域 46 市町村の首長からなる石狩川流域圏会議が取り組んでいる豪雨災害対策職員研修の実施状況や、流域を自転車で結びつけるためのサイクリングコースマップについて報告があり、旭川市からは、まもなく完成を迎える北彩都あさひかわ事業について報告がありました。

今回の情報交換会議を通じて、人的被害を防ぐためには、国、北海道、市町村が、災害に関する情報を共有することが重要であるとの認識が高まりました。

次 第

1. 開会挨拶 石狩川振興財団会長 黒氏 博實
2. 情報提供
 - (1) 防災に係る情報提供
 - 大規模水災害への対応について
北海道開発局河川管理課長 金澤 裕勝 氏
 - 土砂災害への対応について
北海道河川砂防課砂防災害担当課長 山田 宏治 氏
 - 防災気象情報の活用について
札幌管区气象台気象防災情報調整官 輪島 淳 氏
 - 平成26年8月・9月の大雨による出水の概要
札幌開発建設部河川管理課長 吉田 晃啓 氏
 - 平成26年8月降雨における市町村支援について
旭川開発建設部治水課長補佐 米元 光明 氏
 - (2) 市町村からの情報提供
 - 石狩川流域圏会議の状況について
恵庭市 土木課主幹 小舘 眞 氏
 - 「北彩都あさひかわ」について
旭川市 都市建築部次長 辻野 隆行 氏
 - (3) 開発建設部からの情報提供 [石狩川の環境保全について]
 - 石狩川旧花園頭首工の魚道について
札幌開発建設部河川計画課石狩川総合水管理調査官 中島 康博 氏
 - 石狩川上流の河川環境保全に向けた取組の一例
旭川開発建設部治水課長補佐 米元 光明 氏



タイムラインについて説明を行う
北海道開発局金澤河川管理課長



北海道の山田砂防災害担当課長は
土砂災害警戒区域指定の取組について説明



札幌開発建設部、旭川開発建設部は8月、9月の出
水で、市町村に対しリエゾン、TECFORCE等で支援



旭川市からは、忠別川と一体となった
まちづくり「北彩都あさひかわ」の情報提供